

技術パート 基本方針

2018年度引退番発における技術パートの役割は放送機器の設営及び運用です。番発当日の放送の管理は重要であり、トラブルのない番発を実現させたいです。構成進行パート、企画パートとは日頃から連携をとり、リハーサルの段階からメリハリのある運営を行い、今年も番発の成功に貢献できるよう尽力します。

【放送システム】

例年のように出力ケーブルにHDMIケーブルを使うことで、動画のアスペクト比を16:9で放送します。その他、放送システムには大きな変更はなし。例年通り、PC において使用するソフトは、映像送出に「MUBS MovieOutput *1」、番発の演出における効果音のために「あっとサンプラー *2」を使用します。

*1 サークル OB である巻島さんが制作した映像送出用のフリーソフト

*2 複数の効果音を再生・管理できるフリーソフト

【事前業務】

● 技術講習会

- ・ 当日使用する機材の使用方法、知識を共有します。
- ・ 去年は思いのほか一回の講習会でやりたいことが全て終わってしまったので、機材に関して軽くおさらいし、設営・模擬番発を行うリハを今年は1回行います。
- ・ 本番発において技術講習に関しては、交通費は予算を圧迫しない範囲で支給します。

● 使用機材の検討・選別・確保

- ・ 本番の番発で使用する機材を検討・選別し、番発の運営に十分な機材がそろっていることを確認します。
- ・ スタジオストップ後は使用する機材を管理して、状態の確認をします。
- ・ 機材の不備に関しては、技術部に申請することで機材の補填を図ります。

- 提出作品の受け取り

- ・ 技術パートは、構進パート長より作品を受け取る。構進パート長への提出については、パート長の GoogleDrive に提出するものとする。詳細は構進パート基本方針案及び番組要項に記載されています。

- ファイル形式：MPEG-4 (拡張子は. mp4)
- アスペクト比：(16：9)
- 作品の最初と最後にそれぞれ 1 秒の黒みを入れること
- 作品の音声レベルをある程度揃えること。特に、音楽や BGM の音が大きくなりがちなので、注意すること。

- ・ 番組要項の規定に則っていないものは再提出をお願いします。
- ・ 当日提出はもちろん提出期限を大きく過ぎたものは上記の対策ができないため受け取りを拒否します。

- スタジオストップ

- ・ 番発本番では各キャンパスの機材も使われるため、番発本番前の数日間は特定の機材の使用を禁止するスタジオストップを実施します。
- ・ スタジオストップの際は技術部と連携をとり、全体へ周知がいくようにつとめます。

【当日業務・リハーサル】

- リハーサル

- ・ 番発の円滑な運営のため、機材設営の流れ、配置の確認、各パートとの連携をリハーサルによって確認する。

- 当日の運営

- ・ 放送に関わる全ての機材運営・管理を行います。
 - ・ 迅速な設営・撤収、来客者のことを考え適切な機材設置を行います。
- ビデオミキサーから出力された映像を同時録画します。

技術パートは番発を行う上で非常に重要で責任の重いパートだと考えています。みなさんがせっかく素敵な台本や映像作品を作ってくださったのに、機材の操作ミスをしてしまえば台無しになってしまうかもしれません。そんなパートだからこそ良い緊張感を持ち、しっかり取り組んでいきたいと思えます。また、番発中大変な時もあり、場の空気が暗くなることもあるかもしれません。そんな時でも明るくいられるいい雰囲気のパート作りができるよう心がけていきますので、みなさんどうぞよろしくお願いします。

文責：河村昂